

～高等学校や中学校などで英語教育に携わっている先生方を対象に～

第5回 英語教育研究会

主催：江戸川大学メディアコミュニケーション学部情報文化学科
協力：江戸川大学基礎・教養教育センター

日時 2018年8月27日(月) 13時10分～17時20分

会場 江戸川大学駒木キャンパス (千葉県流山市駒木 474)

アクティブ・ラーニング・スタジオ (D棟1階)

最寄り駅：

- つくばエクスプレス線、東武アーバンパークライン流山おおたかの森駅下車、スクールバスで5分
 - 東武アーバンパークライン豊四季駅下車、徒歩12分
 - 常磐線柏駅下車、柏駅西口2番乗り場から東武バス高田車庫行き、柏の葉キャンパス駅西口行き、または国立がんセンター行きで約8分梅林下車、徒歩5分
- ※スクールバスの時刻表は、江戸川大学ウェブページ「交通アクセス」をご覧ください。

テーマ：異文化理解と英語教育

江戸川大学メディアコミュニケーション学部情報文化学科では、近隣の先生方をお迎えし、英語教育のさまざまな課題について一緒に考える研究会を毎年実施しています。お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

講演 1 (13時20分～14時50分)

「文学の翻訳は異文化とどうつきあうのか？」 山本史郎 (東京大学大学院教授)

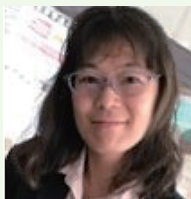


<山本史郎氏プロフィール>

研究分野はイギリス文学・文化一般。19・20世紀の小説、アーサー王伝説、イギリス海軍史、翻訳論、物語論、文学研究におけるコンピュータ利用など多岐にわたる。『アーサー王と聖杯の物語 サトクリフ・オリジナル』(2001)や『ホビット 上下』(2012)など、手がけた翻訳も数多い。『教養 英語読本11』(2013)の編集では東京大学教養学部における英語教育改革を主導し、高等学校の英語教科書の執筆者でもある。著書に『東大の教室で「赤毛のアン」を読む』(東京大学出版会、2008年)、『東大講義に学ぶ 英語パーフェクトリーディング』(株式会社DHC、2010年4月)、『人生は賢書に学べ 読み切り世界文学』(朝日新聞出版社、2015年)他多数。

講演 2 (15時00分～16時30分)

「異文化間コミュニケーションからみた英語教育」 大橋理枝 (放送大学准教授)



<大橋理枝氏プロフィール>

専門領域は異文化間コミュニケーション。東京大学文学部英語英米文学科卒業、同大総合文化研究科言語情報科学専攻修士課程修了、博士課程単位取得満期退学。ミシガン州立大学コミュニケーション学科博士課程修了(Ph. D.)。2001年度から放送大学に助教として勤務。現在准教授。東京大学などで非常勤講師。国際行動学会理事、日本コミュニケーション学会会員、異文化間教育学会会員、International Communication Association 会員、National Communication Association 会員。日本人とアメリカ人のコミュニケーションの仕方の違いに興味をもっている。

自由討議 (16時30分～17時20分)

《参加申込みについて》

参加のお申込みは、メールで学校名・お名前をご連絡ください。(参加無料)

なお、事前にお申込みできない場合は、当日の受付も可能です。

E-mail: soumu@edogawa-u.ac.jp

お問合せ先

江戸川大学企画総務課

〒270-0198 千葉県流山市駒木 474

TEL:04-7152-9908 (平日9時～17時) FAX:04-7153-5904

e-mail:soumu@edogawa-u.ac.jp